

研究機関名：旭川医科大学

作成年月日：2025 年 7 月 25 日（第 1.0 版）

承認番号	25092
課題名	心臓大血管外科手術を受けた高齢者における術後せん妄発症可能性の検討 —鎮静挿管期間中からの早期評価の可能性—
研究期間	西暦 2025 年 10 月 28 日（実施許可日） ～2027 年 3 月 31 日
研究の対象	2020 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日までに当院で開胸による心臓の手術を受けた方
利用する試料・情報の種類	■診療情報（詳細：年齢、性別、既往歴、ICU 入室期間、手術記録、血液検査データや体重などの術後経過 等） ☐ 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） ☐ 血液 ☐ その他（ ）
利用予定日	開始日：実施許可日から 1 ヶ月後
試料・情報の管理について責任を有する者	旭川医科大学 学長 西川 祐司
研究の意義、目的	せん妄とは身体疾患、脳障害などにより意識の変容をきたし、それとともに多彩な症状を呈する状態です。特に手術後に生じる術後せん妄は患者さん本人への不利益だけでなく、スタッフの身体的・精神的負担も増大します。術後せん妄の発症可能性を把握し、せん妄予防ケアを行うためにも評価ツールと合わせて評価できる指標が必要なのではないかと考えました。 心臓大血管外科手術は侵襲も大きく、術後せん妄の引き金となります。そこで手術後の鎮静挿管管理中でも客観的に術後せん妄の発症可能性を評価できる指標があれば早期にせん妄予防ケアを行うことができるのではないかと考え、高齢者の術後体重の変化率と術後せん妄の関連について明らかにしたいと考えています。 目的を達成することができれば、術後せん妄の発症可能性を鎮静挿管管理中でも、簡便に把握することができ、せん妄評価ツールと合わせて評価していくことで看護師個人の経験に左右されず、経口用気管チューブ抜管後早期にせん妄予防ケアを行うことが期待できます。
研究の方法	単施設、後ろ向き量的記述的研究デザインを予定しています。診療録より、年齢、性別、既往歴、内服薬、ICU 入室期間、手術記録、血液検査データや体重などの術後経過を収集します。その後、術後せん妄との関連を調べるために、統計的な方法を使って分析を行います。データの分析には、IBM 社の統計ソフト（SPSS Version 26）を使います。
その他	
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支

	障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 研究責任者：星 雄大 所 属 ：旭川医科大学大学院医学系研究科修士課程 勤 務 先 ：旭川医科大学病院看護部 I C U ナースステーション 所 在 地 ：〒078－8510 旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号 電 話 番 号 ：0166－69－3570（直通） E－m a i l ：yudai102896@o365.asahikawa-med.ac.jp
--	---